

平成28年度第2回 印西市市民活動推進委員会 会議要旨

1. 開催日時 平成28年6月17日（金） 午前10時～12時
2. 開催会場 印西市市民活動支援センター 活動室
3. 出席者 粉川一郎委員長、植本崇委員、大和正明委員、安倉史典委員、玉井和幸委員、北村倫子委員、大野定俊委員、桑田佳雄委員、奥野不二子委員、志村はるみ委員
(以上10名)
4. 事務局 飯塚参事、伊藤、杉山、(指定管理者(株)東京ドームファシリティーズ：斎藤氏、宮本センター長、五十嵐副センター長)
5. 傍聴者 1名（定員5名）
6. 会議内容
 - 1 開会
 - 2 新委員紹介
 - 3 委員長職務代理者の選任について
 - 4 議題
(1) 平成27年度印西市市民活動支援センターの事業報告について
(2) 平成28年度印西市市民活動支援センターの運営方針について
(3) その他
 - 5 閉会

7. 会議要旨

2 新委員紹介

新たに学識経験者の区分で委嘱された志村はるみ委員を紹介。

3 委員長職務代理者の選任について

委員長の指名により、志村はるみ委員が委員長職務代理者に選任された。

4 議題

(1) 平成27年度印西市市民活動支援センターの事業報告について

〔参考資料〕資料1

《事務局報告》

資料1に基づき、平成27年度の管理運営及び実施事業について報告した。

《委員意見》

- ・1年間運営を行ってきた中での反省点や課題、またやりにくかったことはあるか。
→ゼロベースからスタートし、まずは団体を知ることからはじまった。知らないことが多かったという点が大きな反省点である。長期的な目標として団体をつなぐという方向性を掲げる中で、団体のニーズをさらに掘り下げてつかんでいくことが今後の課題として見えてきている。

(宮本センター長)

- ・利用者が市民活動支援センターの活動をサポートするような仕組みは検討しているか。
→将来的にだんごまつりを実行委員形式で実施することを検討している。(宮本センター長)
- ・資料1の11p「市民からのご意見」にコーヒーサービスを継続してほしいとの要望がいくつか書かれている。他施設では会員制サービスで行っているところがあると聞いている。
→前指定管理者がコーヒーメーカーで淹れたカップを実費分で提供するサービスを行っていた。東京ドームファシリティーズでも同じサービスを継続してもらいたいとの要望があった。(事務局)
→指定管理者が代わった4月当初に数名の方から要望があった。検討の結果、代替サービスとして湯沸かしセットの借用を行うことにした。また、スタッフが店舗で購入した飲料を同額で提供することもある。(宮本センター長)
→交流サロンのような利用を想定して喫茶サービスを提供するのであれば、市が仕様書に記載して実施するのが本来あるべき姿である。仕様がないのであれば、現状のサービスが指定管理者の対応としては十分であると思われる。(粉川委員長)
- ・市民からの意見に対する対応は、報告なので省略した書き方となっているが、これがそのまま公表されると指定管理者が冷たい対応をしているかのような誤った印象を市民に与える可能性がある。留意した方がよい。
- ・だんご通信はどのような形で回覧しているのか。
→月に2回行政依頼配付物として町内会等に市の回覧物を依頼しており、だんご通信もその中でお願いしている。(事務局)
- ・市や他の団体との連携を含めたNPO立ち上げの支援のあり方を研究していただきたい。
→個人レベルで立ち上げの相談が来ている。NPO法人を立ち上げる上でメリットとデメリットの両面をアドバイスしている。市内には市民活動中間支援団体のNPO法人COSMOSサポートクラブがあり、日ごろからご支援をいただいている。今後もそうした連携協力を深めていきたい。(宮本センター長)
- ・初年度としては大変優れた運営実績を上げられたものと考えている。資料1別添1の事業報告を見ても、市民に有用な講座を数多く企画していただいている。
→昨年度は後半に講座が集中してしまった点を反省している。今年度は年間を通してまんべんなく企画を実施できるよう努力したい。(宮本センター長)
- ・所属団体の活動で市民活動支援センターの活動室を利用している。市民活動支援センターのホームページ掲載記事を見た方や主催講座で知り合った方に新たに団体のセミナーに参加していただいた。また、別の団体の相談業務にも丁寧に対応していただいた。
→やるべきことをやった結果、感謝していただくのは素直にありがたい。今後もひとつひとつ丁寧に対応していきたい。(宮本センター長)
- ・だんごまつりの入場者数が大幅に増加している。スタッフの取り組みには敬服する。ただ、平成28年度の事業計画で月平均500人と算出すると、平成27年度の実績を大幅に上回ることになる。実際に可能な計画と考えているのか。
→活動室の利用増加を見込んで設定した。計画達成に向けて努力したい。(宮本センター長)
- ・資料1別添4の市民活動相談について、相談を内容別に分類・分析するようなことはしているか。
→内容別に分けて資料化はしていない。今後の課題と認識している。現在は個別の相談にどれだけ

きめ細やかに対応していくかという点に注力している。(宮本センター長)

- ・相談内容や相談者の傾向を把握することは講座の企画立案に大変役立つので、ぜひ検討していただきたい。また、協働事業の相談にも対応できるよう、スタッフの育成にも力を入れていただきたい。
→スタッフ全員でスキルアップに努めていきたい。(宮本センター長)
- ・平成27年度は夜間利用がほとんどされていない。単にニーズがないという見方と、夜間利用を促す取り組みが不足しているという見方がなりたつ。
→平成27年度はあまり利用がなかった。平成28年度から夜間利用が増えてきている。

(宮本センター長)

- ・資料1の6pにだんごまつりの所要経費は24万5千円と記載されているが、23pの収支決算書には48万円程と記載されている。この違いはなにか。
→だんごまつりには本社の職員数名が応援に来ており、その経費を収支決算書の方に加えたため、異なる金額の記載となった。(宮本センター長、斎藤氏)

《委員長総括》

- ・報告に基づいた各委員の意見を総合すると、平成27年度の管理運営はおおむね良好であったとまとめられる。

(2) 平成28年度印西市市民活動支援センターの運営方針について

[参考資料] 資料2、ちらし等参考資料

《事務局説明》

- ・資料2に基づき、指定管理者から今年度の事業計画について説明した。

《委員意見》

- ・影山さんとはどのような方か。
→月に数回コーディネーターとして勤務している。市外の市民活動センターでも勤務している。
(宮本センター長)
→海外の大学でボランティア活動を専門的に学んできた経歴の方と伺っている。(事務局)
- ・難しいことは重々承知しているが、市内にある様々な課題を解決するための実践的な講座を、市とも連携して情報収集しながら企画していただくようお願いしたい。また、そうした取り組みは市民活動支援センターのメールマガジンで随時発信していると思うが、登録団体だけでなく、例えば、市民活動支援センターのホームページを見た市民活動に関心がある市民の方がメールマガジンに登録できるような仕組みも、併せて考えていただければと思う。
- ・市民活動推進委員にもメールマガジンを配信していただきたい。また、文字が小さかったり、行間が詰まったりしていて読みにくい文章も見受けられる。作成の際はその点を留意していただきたい。
→各委員のメールアドレスを事務局から市民活動支援センターに送付し、メールマガジン配信先に登録してもらうことについて異議はないか。(粉川委員長)
→全員異議なし。
- ・資料2の収支予算書について、前年度決算に比べコーディネーター労務費が大きく膨らんでいる。この理由を教えてほしい。
→コーディネーター労務費はセンター長を除くスタッフの人件費である。金額が増えたのは平成28年度にスタッフが1名増えたため。(宮本センター長)

- ・参考資料の夏休みボランティア体験について確認したい。
→市内中学校や市内及び近隣の高校にこのちらしを配布依頼したほか、市内公共施設で配布している。今年度は社会福祉協議会と共催で実施する。(宮本センター長)
- ・市民活動支援センターの企画事業や取り組みが企画提案型協働事業の提案に結び付いてくるような展開が見えてくることを期待したい。

《委員長総括》

- ・二週間ほど前に閣議決定された2016年度経済財政諮問会議、いわゆる骨太の方針の中で、共助社会を実現するためにNPOの社会的インパクト評価を推進すると明確に謳われた。これは内閣府主導の動きで、成果ベースでNPOセクターの事業評価を行っていくという、NPO側にドラスティックな変革を求めるものと捉えられる。当然、今後は国から地方へNPOの成果評価を求める動きが出てくることが予想される。そうすると、次には市民活動支援センターもそうした成果評価に関するNPOからの相談業務が発生する可能性が出てくる。そうしたことを踏まえると、市民活動支援センターの事業計画についても、参加者数などの単なる数値目標から、少なくとも具体的な成果が得やすい事業については、積極的にアウトカムベースの定性的な目標まで言及していくことが望ましい。それにより、印西市における成果評価のひとつのモデルとなることが期待される。ぜひ検討していただきたい。また、本来は市としても指定管理者に成果評価を求めていくことが必要な時代になっていることを、この場で併せて指摘しておきたい。(粉川委員長)
- 評価設定の具体的なアドバイスがあればいただきたい。(宮本センター長)
- 個別の事業について、例えば地域デビュー講座の対象者がだれで、参加者にどう変化を起こしていきたいか、といったロジックモデルを明確にしていくことがポイントである。その際には、アンケートの実施項目が重要な指標となる。(粉川委員長)

(3) その他(平成28年度企画提案型協働事業「指定テーマ」について)

《事務局説明》

- ・平成28年度企画提案型協働事業の指定テーマ型については、「男女共同参画に関わる啓発事業の実施」を市民活動推進課から募集した。また、追加募集として「市民向けごみ分別冊子の作成」がクリーン推進課から先日上がってきた。今年度はこの2件を市からの指定テーマとして募集する。

《委員意見》

- ・追加募集の説明が一般の市民にはわかりにくいのではないか。
→相当なノウハウを有する市民活動団体を募集対象としており、現実的に一般の市民が提案するのは難しい内容である。そうした力量をもつ市内の団体に対しては、積極的に働きかけていきたいと考えている。(事務局)
- ・「資源物とごみの分別が大事典」は一般市民に配布しているのか。
→作成された平成15年ごろに全戸配付したと聞いた。現在は転入者や希望者などに配っている。(事務局)

5 その他

- ・印西市市民活動推進委員会の次回日程について

日時：8月5日(金)午前10時から 会場：印西市文化ホール

以上